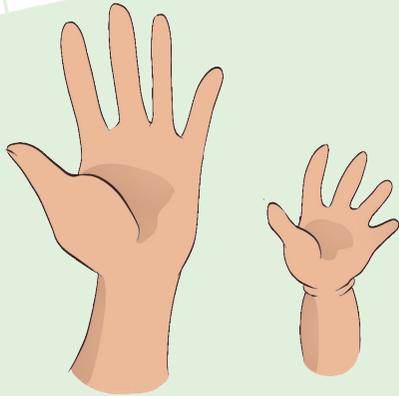


1

ちいさいです



1

赤ちゃんの手は、かわいいですね。お父さん、お母さんの手は大きいです。赤ちゃんの手は、とても小さいです。ところで、あなたは身長が高いですか。身長が低いですか。お相撲さんやバスケットボールの選手は身長が高いです。身長が高いとき、「大きいです」ということもできます。身長が低いときは「小さいです」と言うことができます。「小さいです」は「かわいいです」という意味のときもあります。

例えば、駅で友達と会います。でも、駅は人がたくさんいますから、友達がどこにいるかわかりません。友達はあまり背が高くないです。友達と会ったとき「背が低くて、わからなかった」と言うより、

2



ちいさい犬

「小さくて、わからなかった」と言ったほうがかわいい意味も入って、いいと思います。

2

それから、赤ちゃんやまだお母さんと手をつないでいっしょに歩いている幼い子どもたちも「小さいです」と言うことができます。年齢が低いときに使います。かわいいですね。動物も生まれたばかりのときや、お母さんといつもいっしょにいるときは、「小さい犬」のように言います。漢字で犬の赤ちゃんは「子犬」と書きますが、日本語で「小さい犬」と言うときは、小型犬のときと、まだ赤ちゃんのときの二つの意味で使うことができます。

3

他にも、声や音をはっきり聞こえないとき、「声が小さいです」「音が小さいです」と言う

3



ちいさい音



ことができます。

映画館の音やカラオケの歌声は、はっきり聞こえますから、「大きいです」と言います。ですから、音が大きくて、うるさいとき「すみません、ちょっと音を小さくしてください」と言います。他の人の悪口を言ったり、秘密を話したりするときは、「小さい声」で話します。電車の中など周りの人の邪魔になるときは、「小さい声」で話しましょう。

最後にもう一つ。雨がたくさん降って、ひどいときは、「大雨」と言います。少しの雨は「小雨」と言います。「小さい雨」ですが、「こ・さ・め」と特別な読み方になりますから、気をつけてください。